

SAP-MS 研究会

研究実績報告書

2022 年度 (2022 年 4 月 – 2023 年 3 月)

SAP-MS 研究会へのご寄付、誠にありがとうございました。

皆様のご協力のおかげで、2022 年度の IGT クリニックの研究活動は充実したものになりました。この研究活動により得られた実績は IGT クリニックの礎になるもので、2023 年度も皆様方に安心して受けていただける医療を提供してゆきたいと思っております。

研究組織

研究組織名：SAP-MS 研究会（1999 年設立） 代表者：堀 信一

研究員：堀 篤史、中村達也、鳥井将弘、雑賀美和、中澤雄希

寄付金の用途

医療材料費、器材購入費、動物実験費、研究発表費、研究者の養成、研究補助人員の給与、臨床研究薬品購入費、水素ガスの有用性に関する研究、IGT クリニックの診療環境整備やスタッフの育成等

研究費は以下の目的のために使用しました。その内容を以下に記載します。

学会発表

学会名	日時	発表演題	場所	参加者	備考
SIR	6/13	Trans-arterial Management of Recurrent Breast Cancer	アメリカ	堀 信一 陳碧雯	6/11~6/17
Merit ThinkEmbolics Month	6/30	New Horizon for Embolotherapy		堀信一	WEB
中国腫瘍大会	7 月	・A new treatment concept of advanced breast cancer; trans-arterial treatment ・A new role of	中国	堀信一	WEB

		trans-arterial treatment for cancer patients			
SIPS	11月	Non-invasive cancer therapy with the latest medical technologies and a new treatment concept	タイ	堀信一	WEB
9 th Tumor Minimally invasive interventional therapy and targeted therapy	12月	Minimally invasive therapy for lung and mediastinal tumors using a microcatheter	中国	堀信一	WEB

論文発表

学術雑誌名	論文名	著者名	内容	備考
Journal of Hepatocellular Carcinoma	Retrospective Study of the Efficacy and Safety of Chemoembolization with Drug-Eluting Microspheres Combined with Intra-Arterial Infusion of Bevacizumab for Unresectable Hepatocellular Carcinoma	Shota Ueda, Shinichi Hori, Atsushi Hori, Kazuhiro Makitani, Ke Wan, Tetsuo Sonomura	原著	

life	Transarterial Treatment of Lung Cancer	Atsushi Hori , Ikuo Dejima , Shinichi Hori , Shuto Oka , Tatsuya Nakamura Shota Ueda	原著	
------	--	--	----	--

国内出張

目的	日時	場所	参加者	備考
講演	4/21	宮城	堀信一	
関連施設訪問	5/11	東京	堀信一	
講演	6/2	大阪	堀信一	
学会	6/4 ~ 6/5	兵庫	堀信一	
関連施設訪問	9/15	東京	堀信一	
講演	11/24	大阪	堀篤史	
関連施設訪問	2/10 ~ 2/11	東京	堀篤史	
関連施設訪問	3/2	東京	堀信一	
講演	3/16	兵庫	堀信一	
学会	3/23 ~ 3/25	京都	堀信一	

国外出張

学会	6/11~6/17	アメリカ	堀信一、陳碧雯	
----	-----------	------	---------	--

造影注入器開発：Covid-19の影響により大幅に遅れておりましたが、2022年12月12日に無事納品することができました。

世界で初めてできたマイクロカテーテル専用の注入器になりました。

IGTクリニックでの臨床研究：必要な薬剤を購入し以下の研究に使用しています。

目的	具体的内容	効果
新治療法の開発	アバスチンの適応外使用	血管内治療の成績向上

機材購入：以下の目的で購入し、研究活動に役立てています。

購入機材	目的
インジェクター	カテーテル治療時の負担軽減

IGT クリニックの診療環境整備

使用目的	具体的内容
入院環境設備	入院環境改善

今後とも、SAP-MS 研究会へのご支援を、宜しくお願い申し上げます。

以上。

令和4年度 収支計算書

自. 令和4年4月1日 至. 令和5年03月31日

SAP-MS研究会

収入の部

(単位:円)

科目	決算金額
前年度繰越金	8,073,698
寄付金	3,662,900
利息	49
当期収入合計	(3,662,949)
収入合計	11,736,647

支出の部

(単位:円)

科目	決算金額
参加費	123,000
会費	176,000
年会費	200,375
手数料	77,827
環境設備費	1,284,972
論文関連費	438,960
出張関連費	2,336,173
書籍費	58,260
消耗品	440
研究開発費	6,500,000
講演会関連費	10,313
当期支出合計	(11,206,320)
次年度繰越金	530,327
支出合計	11,736,647